



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Vol. 60

No. 20

第 2833 例会
2022年4月26日号

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2580地区

東京江東ロータリークラブ

2020～2021年度 テーマ

Serve to Change Lives

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
RI 会長 ジュカール・メー 地区ガバナー 若林英博

誓願成就

～願いはかなえよう～
クラブ会長 小嶋映治

今日の卓話

次回例会案内

「サラヤの環境への取組」
東京サラヤ(株)東京支店支店長
江良 慎也 様

イニシエーションスピーチ
熊川 興亮 会員

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会報告

4/12 訂正出席率 76.19%
4/19 会員数 21 名中 13 名
出席率 61.90%



会長・幹事報告



・本日 11:00 より事務局にて新人研修会が開催されました。

4/15 (金) 地区研修協議会 (於: ホテル椿山荘東京) に次年度各委員長および委員長代理が出席しました。

4/20 (水) 一般財団法人比国育英会バギオ基金第13期第3回理事会に鈴木理事が出席されます。

4/22 (金) 2021年度アートパラ深川おしゃべりな芸術祭開催報告会が開催されます。

4/25 (月) 次年度会長幹事会に小野会長エレクト、末次次期幹事が出席されます。

<委員会報告・その他>

大澤 60 周年記念実行委員長: 60 周年記念例会について
(ご家族お手伝いのお願い)



【配布物】たんぼぼクラブ記念誌、地区研修協議会資料 (RYLA 委員会)

ニコニコボックス



小嶋会長: 先日はお疲れ様でした。本日もご報告お願いいたします。

板倉幹事: 本日も宜しくお願い致します。

小野会長エレクト: 本日の地区研修協議会報告宜しくお願い致します。

末次君: 本日も宜しくお願いします。

伊藤 (三) 君: 地区研修協議会に出席された方々、大変ご苦勞様でした。嶋村ガバナーの方向性が良くお分かりになった事と察しますので、方向性に沿って前進し、ロータリーを楽しんでいきましょう!

青木君: 今年度から始まった高校1年生の「歴史総合」の教科書を長男が書いています。

菅澤君: 会長お世話になりました。

伊藤 (海) 君: 本日も宜しくお願いします。

大澤 (秀) 君: 先週の研修会ご苦勞様でした。

田澤君: 宜しくお願いします。

大島君: 欠席すみませんでした。出席の皆様よろしく申し上げます。

河西君: 本日も宜しくお願い申し上げます。

堀君: 今日もよろしく申し上げます。

合計 42,000 円
累計 1,258,000 円

☆今週のワンポイントレッスン (No.20)

●ロータリー財団とは

6人目のRI会長であるアーチ・クランプは、1917年のアトランタ国際大会で「ロータリーが基金を作り、世界的な規模で慈善、教育、その他社会奉仕の分野で何か良いことをしよう。」と提案しました。数か月後、米国ミズリー州のカンザスシティ RC から26ドル50セントの寄付がありました。これが最初の寄付でした。

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL: 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日12時30分~13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL: 03(5632)3777 FAX: 03(5632)3737



幸せしよう みんなの人生を豊かにするために



2022年4月15日

地区研修協議会報告



会長部門 小野 綾子 会員

全体会議で学んだ事

2022-2023は初の女性会長が誕生致しました。ジェニファー・ジョーンズ RI 会長のテーマ「イマジンロータリー」です。

昨日の事をイマジン（想像）する人はいません＝イマジンとは未来を描く事です

イマジンロータリーのロゴの色は、緑・紫・白の3色です「多様性・公平さ・インクルージョン」を強調しています。「緑は環境、紫はポリオ、白は平和」を表しています。デザインの輪は人々の繋がり、輪の周りの点は人々、7つの点はロータリーの重点事項「①平和の推進②疾病との闘い③水と衛生④母子の健康⑤教育の支援⑥地域経済の発展⑦環境」緑の線は掘り下げる道具（難関に立ち向かうときに使う）。

嶋村文男ガバナー信条「ロータリーの未来の為に行動しよう・世界の平和のために手を差し伸べよう」を織り込んだ地区委員会の方針と行動計画も発表されました。

各部門研修は、参加された皆さんからの報告をして頂きました。私が参加致しました会長部門研修では、東京西 RC の鈴木隆志地区会員増強プロジェクトリーダー補佐による講演「会員増強の実践」のテーマで講演をお聞きいたしました。

クラブの維持には会員数の維持増強が必要である事。これを実践するには、新会員の増強はもちろんですが、現在の会員の皆さまがロータリーライフを楽しんでおられることは絶対条件だと思います。

地区研修協議会で学びそして次年度 2022-2023 の東京江東ロータリークラブのターゲットは、

楽しもうロータリー

～ 仲間を増やし みんなで楽しい未来へ～

皆さま、どうぞこの一年を皆様とロータリーライフを楽しみたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

幹事部門 末次 茂雄 会員

矢野宗司氏が講師を務め、次の通り、説明がなされた。主なテーマは、①クラブ例会のハイブリッド化、②キャッシュレス化、③クラブロータリーカードの奨励であった。まず、①クラブ例会のハイブリッド化とは、従来通り、実際に会員が例会に参加する方法と、都合により例会に参加できない会員がいる場合、当該会員については、ウェブ会議を開催する方法を併用することである。これにより、例会の参加率が上がり、海外にいる米山奨学生が参加することも可能となり例会に活気が増すというメリットがある一方、ウェブ会議を開催する主催者を誰にするか、また録音がなされる場合、全員の同意をとる必要がある等の問題点が指摘された。②キャッシュレス化については、ニコニコの会費やビジターフィーなどを現金で回収するのではなく、クレジットカードや電子マネーを利用する方法を推奨する旨説明がなされた。これについては、各ロータリークラブの口座に直接入金することが困難であること、決済手数料が生じること等の問題点が指摘された。③クラブロータリーカードについては、カードを利用することにより生じるポイントを寄付に回すことによって気軽に社会貢献をすることができるため、会員がカードを作成することを推奨する旨、説明がなされた。





専任しよう みんなの人生を豊かにするために

WEEKLY REPORT 東京江東ロータリークラブ



クラブ奉仕部門 河西 史郎 会員

クラブ奉仕委員長部門では「ロータリー賞」を受賞しようということが話されました。

各クラブの会員が積極的に MyRotary に登録をして、受賞を目指そうというものです。

ロータリー賞を受賞すると、下記のことが会員に周知され、みんなで団結できるというものです。

- ・目標に向けた取り組みが、クラブ会員の参加を促す。
- ・クラブ目標・進捗の共有
- ・クラブ目標が明確になる
- ・クラブを強くする。会員の一致団結
- ・クラブ戦略計画、CLP が管理できる
- ・世界中の人たちとアイデアを広げることができる
- ・クラブが成長し活性化する、元気なクラブになる
- ・クラブにとって名誉な賞である
- ・目標達成まで、あと少し、あと少しが会員の心を動かす
- ・数値目標にチャレンジする
- ・受賞時の達成感を味わう、達成を祝う

などが、ロータリー賞を受賞する、またはそれに向けて団結していくという各項目です。

ぜひ、我がクラブでも挑戦していきたいと思えます。



職業奉仕部門 堀 敬太 会員

職業奉仕委員長部門に参加してきました堀です。ロータリーにおいて五大奉仕の1つである職業奉仕とは何か？他の奉仕との違いは何か？そもそもロータリーの奉仕とは何か？曖昧であった職業奉仕について自分なりに理解することを目的に今回の地区研修協議会に参加してきました。越谷東 RC の青木さんの講師のもと 1924 年のセントルイス国際大会において決議された「第 23-34 号」についての講義を受けました。その後のディスカッションでは同席の東京ベイ RC の林さんが職業奉仕について熱弁を語っていただきました。その中で決議「第 23-34 号」とは利己的な欲求と他人のために奉仕したいという感情の間にある矛盾を和らげようとするもので、クラブ例会を通じてロータリアンと親睦し共に学び切磋琢磨し自己の研鑽の場として真っ当な理性・良心を持つことが職業奉仕に繋がるということを語っていただき大変有意義なディスカッションで終わりました。



社会奉仕部門 大澤 秀利 会員

最初に、相澤部門長から

ロータリーの社会奉仕の歴史の再確認が行われ、

- ・最初の社会奉仕は、シカゴでのトイレの設置であり
- ・他のクラブでの活動については「ロータリーの友」から学んで欲しい

・ロータリーの社会奉仕は、地域やクラブ内との「交流」が肝である

などの話があった。

また、地区としては、

・他クラブの奉仕活動に参加できる仕組みづくり、クラブ同士の横の連携

・財団地区補助金の審査手続への関与

・高校生の職業体験受け入れ

を三本柱として推進すること。

次いで、横山環境委員長から、以下の話があった。

次年度から新たに社会奉仕部門の中に環境委員会が設けられたこと。

環境委員会は、ロータリーの 7 つ目の重点分野として「環境」

事務局は午前 10 時から午後 16 時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12時30分~13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737



専任しよう みんなの人生を豊かにするために

WEEKLY REPORT 東京江東ロータリークラブ

が追加されたことを受け、地区でも社会的関心や大きなインパクトが考えられるため設置されたこと。

各クラブでは、ロータリーが新しく制定した「環境」分野の 8 つの目的に沿った事業を実施して欲しいこと。

地区として、環境保全クリーン活動を 7 月と 9 月に行うことを決めたので、多くのクラブの参加をお願いしたいとのこと。

また、12 月には公共イメージ部門と連携し「環境」のことをいろいろな視点から考え学ぶワークショップを行うとのこと。「ロータリーの友」に「環境」に関する事例が載っているのを参考にして欲しいとのこと。

以上の説明があった後、

グループに分かれて、社会奉仕活動の進めるに当たっての、地域ニーズの取り入れ方、活動とクラブの活性化、他クラブとの結びつきなどが、話された。



青少年奉仕部門 板倉 健司 会員

インターアクト委員会、青少年交換委員会については当クラブ非該当につき報告の割愛をさせていただき、RAYLA についての報告から申し上げます。

2022—2023 年度 RAYLA（ロータリー青少年指導者育成プログラム）は現時点で開催することで予定されております。

開催時期は 2023 年 2 月 23 日～ 26 日、場所は沖縄県国頭（くにがみ）村環境教育センター「やんばる学びの森」、応募人数 27 名うち在京 20 名となっております。

応募資格は地区のロータリークラブから推薦を受けた 20～概ね 30 歳の男女・将来地域において中核的指導者を目指す人となっており、「これまでに一番感動したこと」をテーマとした小論文を申込書とともに 9 月 1 日～ 11 月 1 日迄に提出となります。

次に、地区危機管理委員会より 2004 年の大阪国際大会で、青少年交換学生が性的虐待やハラスメントに遭っており、加害者会員が服役し内 1 名は元ガバナーであることが報告されました。オーストラリアでマスコミがこの問題を報道し反響を呼ぶとともに、RI はこの件で告訴され多額の賠償金を支払ったことが判明しました。このことがロータリー

における危機管理委員会設置の発端であり危機管理の重要性の説明がありました。

性的虐待やハラスメントは絶対に容認しない考えから、申立ての報告があった場合真偽や重大性、事件性の有無にかかわらず 72 時間以内に RL に報告する事。青少年プログラムに限らず米山奨学事業での歴史・政治・外交問題を取り上げた言動もハラスメントと位置付けられるものもあり、危機管理意識の自覚と行動が求められるとのことでした。

後半は青少年奉仕事業の魅力と可能性、危機管理についてテーブルディスカッションが行われました。当クラブの取り組みとしては狭義の青少年プログラムにとらわれず、少年サッカー大会、わんぱく相撲への協賛、社会福祉フェスティバル等障害児へのサポート事業、当クラブで担当の元米山奨学生であるガン君の学友会の会長就任及び継続的な交流、小嶋会長ご令嬢の交換留学先であるスロバキアがウクライナ周辺国であり、留学時のコネクションを通じた支援窓口として申し出頂いていること等をお話しさせて頂きました。

危機管理についても担当カウンセラーによる適切な対応により問題なく米山奨学生のケアを行い送り出せた旨報告をいたしました。

以上、青少年奉仕部門研修報告を申し上げます。



クラブリーダー部門 伊藤 三千男 会員

今日の部門別会議では、何故クラブビジョンを作ることが必要なのか、またどのようにクラブビジョンを作るかについてお話ししました。

テーマは、

◆あなたのクラブにはクラブビジョンを考える委員会がありますか？

◆ある場合には、どの様な議論が行われていますか？

◆ない場合には、クラブ会員はクラブの中長期計画をどの様に考えているか、あるいは考えていないか、その空気感を話しましょう。

テーマ 2

◆あなたはクラブ研修リーダーとして、今後どのようにクラブビジョン作成の議論をリードしますか？